

## 経費按分計算書

(手順1) 施設の各面積から「事業用面積割合」と「対象外店舗減額割合」を算出する。

※原形復旧又は原形復旧を超える事業の場合は「**旧施設**」の面積、原形復旧に満たない事業の場合は「**新施設**」の面積を記入。

項目	面積	
延床面積	m <sup>2</sup> ···· a	
事業用面積	m <sup>2</sup> ···· b	
非事業用面積	m <sup>2</sup> ···· c	
共用面積	m <sup>2</sup> ···· a - (b + c)	
対象外店舗面積	m <sup>2</sup> ···· d ※dはbの内数	

★ 事業用面積割合 =  $b / (b + c)$   
R =

※標記の率は参考です。端数処理はしません。

★ 対象外店舗減額割合 =  $1 - d / a$   
S =

※標記の率は参考です。端数処理はしません。

(手順2) 補助対象外経費を除外した見積金額(税抜)を事業用経費、非事業用経費、全体影響事業費に区分する。

項目	事業用途のみの事業費 (ア)	非事業用途のみの事業費 (イ)	全体影響事業費 (ウ)	合計
施設費	円	円	円	円
設備費	円	円	円	円
合計	円	円	円	円

(手順3) 次の算式により、按分計算を行い補助金算定経費を算出する。

補助金算定経費 =  $[(ア) + \{(ウ) \times R\}] \times S =$   円 ←事業計画書に記入する額

※ここで一度円未満切捨て      ※さらにもう一度円未満切捨て

※上記内訳 施設費  設備費

## 保険等按分計算書

※按分が必要な施設について保険等に加入している場合、保険金額も按分が必要となります。

保険金額の按分額 =

$\frac{\text{保険金額 (円)}}{\text{事業用面積} + \text{非事業用面積}} \times \text{事業用面積}$

※按分前の保険金額      ※経費按分計算書の事業用面積 b      ※経費按分計算書の非事業用面積 c

=  円      ※事業計画書に記入する額